

**後三条天皇** 71代天皇。170年ぶりに藤原氏の外戚を脱した天皇。荘園整理などにより権威を回復したが、早世した。

ごさんじょうてんのう

・ ・ ・ ・ ・ 1034 = 皇太弟敦良親王の第2王子に生まれる。母は太皇太后禎子内親王(陽明門院)。名は尊仁。

・ ・ ・ ・ ・ 1036 = 2歳：父が後朱雀天皇として即位。

\_\_関白藤原頼通が支配するなか、母が藤原氏で無い王家出身という宇多天皇以来の身で、その即位は困難と見られていたが、頼通が入内させるような娘に恵まれず、頼通の弟能信とその養子能長に支えられ、

・ ・ ・ ・ ・ 1043 = **9歳**：

寛徳荘園整理1045 = 11歳：\_\_後朱雀天皇が発病、異母兄親仁親王に譲位する際、能信の猛烈な運動で、東宮となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1046 = 12歳：\_\_東宮大夫となった能信の養女茂子を妃に迎える。

\_\_摂関家は直接外戚関係のない尊仁の立太子を喜ばず、関白頼通は女寛子を、彼の同母弟教通は女歎子を後冷泉天皇に入れたが、子どもに恵まれず、

**前九年の役始**1051 = 17歳：

末法思想始・1052 = **18歳**：

鳳凰堂・ ・ ・ 1053 = 19歳：\_\_茂子との間に、後に白河天皇となる王子が誕生。

\_\_圧迫を受けながらもその地位を保ち、

・ ・ ・ ・ ・ 1061 = **27歳**：

**前九年の役終**1062 = 28歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1067 = 33歳：\_\_学者出身の大江匡房が東宮学士となる。

**後三条天皇**・1068 = 34歳：\*後冷泉天皇が死去して、ようやく即位。王子は皇太子貞仁親王となる。大江匡房をブレーンに、村上源氏の源師房や、東宮時代に摂関家に同調した者でも能力あるものは用いるなど、政治の刷新に努め、

延久荘園整理1069 = 35歳：\_\_延久荘園整理令はかなり効果があった。一方で後三条勅旨田とよばれる皇室領を設置している。

延久陸奥合戦1070 = **36歳**：

・ ・ ・ ・ ・ 1071 = 37歳：源基子との間に、第二皇子が誕生。

白河天皇即位1072 = 38歳：\*公定価格を定める沽價法や、標準の枅(宣旨枅)を定める斗升法など経済的施策を行い、堂々たる伽藍の円宗寺を建て、ここで最勝・法華二会を修した。大内裏を復興させると、貞仁親王(白河天皇)に譲位、

後三条天皇没1073 = 39歳：\_\_まもなく、没した。